

津波総合防災訓練

～日頃の備えが大切です～

11月24日(日) 午前9時30分から
※小雨決行

☎危機管理課 防災安全係 ☎22-3402

市では、東日本大震災の教訓を踏まえ、「自分の身の安全は自分で守る」ことを第一に考え、津波総合防災訓練を実施します。

訓練では、防災行政無線でサイレンを鳴らすとともに、携帯電話へ緊急速報メールなどによる情報伝達訓練も行いますので、発信情報をもとに、以下の①②を行いましょ。

各家庭・事業所などでも、身の安全の確保や非常用持ち出し袋の確認のほか、災害時には若い世代の力が不可欠ですので、親子で、会社ぐるみで地域の訓練に参加しましょう。

※訓練中止の場合、午前7時30分に防災行政無線でお知らせします。

※11月24日(日)以外に中学校区単位等で訓練を実施する場合は、その区域内の防災行政無線で訓練放送を行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【訓練の想定】

11月24日(日)午前9時30分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0と推定される地震が発生し、気仙沼市で震度6弱を観測。宮城県沿岸に大津波警報が発表され、最大クラスの津波浸水想定区域に避難指示が出された。

また、台風の接近による大雨に伴い、大雨警報が発表され、土砂災害の危険が高まっている。

① 地震発生時行動訓練 –身の安全を確保しましょう–

午前9時30分に防災行政無線で地震発生時の訓練放送を行います。

放送を聞いたら、1分間程度テーブルなどの下に身を隠し、落下物などから頭を保護する安全確保訓練をしましょう。その後、大津波警報の発表に伴い、避難が必要な方は避難訓練や避難場所の確認を行いましょ。

② 非常用持ち出し袋の確認をしましょう

この機会に非常用持ち出し袋の中身や家庭の備蓄物資を点検しましょ。

食料などの賞味期限が切れていないか、懐中電灯やラジオなどが正常に動くかなど、家族で確認してみましょ。

○重点地区における訓練

■時間/午前9時30分から12時頃まで

■場所/重点地区：鹿折地区 メイン会場：鹿折中学校

■内容/①避難訓練 ②避難誘導訓練 ③避難所開設・運営訓練など

※また、昨年度実施した^{りっこう}陸閉鎖訓練、乗り越し道路避難訓練を今年も実施します。

訓練に伴う 交通規制のお知らせ

令和6年 11月24日(日) 午前9時30分～10時5分



地理院地図を加工して作成

内湾地区における「^{りっこう}陸閉鎖訓練」「乗り越し道路避難訓練」では、「市まち・ひと・しごと交流プラザ(PIER7)」前の陸閉鎖を閉鎖します。通行する皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。
※陸閉鎖(りっこう)…津波や高潮の際に堤防の役割を果たす開閉可能な門扉

車両：港町側からの一方通行
交通規制中は、乗り越し道路
を通行してください。



南町から港町・魚市場方面

▶迂回路(河原田地内)を通行してください。
※交通信号は平時通りですので、運転時にはご注意ください。

港町・魚市場から南町方面

▶車両は、乗り越し道路を通行してください。
▶歩行者は、「南町海岸公園」敷地内を通行できます。

凡例
閉鎖する陸閉鎖(訓練箇所)
迂回路(港町・魚市場方面)
乗り越し道路
進行方向(南町方面)

今月は収納ケースをお届けします

10月から5回にわたり防災に関する各種資料をお届けしています。

今月お届けするのは、各種資料を収納するケースです。

先月お届けした「防災ハンドブック」のほか、来月以降お届けする「津波ハザードマップ（全市版・地区版）」、「津波避難ガイドライン（概要版）」、「洪水・土砂災害ハザードマップ（更新版）」をこのケースに収納し、いざというときに、すぐに取り出してみられる場所に大切に保管してください。

☎ 危機管理課 防災安全係 ☎ 22-3402



10月号
防災ハンドブック



今月号
収納ケース

折り目に沿って
ていねいに折り
曲げ、組み立て
てください。



12月号
津波ハザードマップ
(全市版・地区版)



1月号
津波避難ガイドライン
(概要版)



2月号
洪水・土砂災害
ハザードマップ (更新版)

防災行政無線などを利用した『情報伝達試験』を実施します

全国瞬時警報システム（Jアラート）を用いた試験が全国で一斉に行われます。実際の災害と間違えないようご注意ください。

■日時／11月20日（水）午前11時

■内容／次の配信先に試験放送と試験配信を行います。

【配信先】・防災行政無線・被災者支援メール・市公式サイト
・X（旧ツイッター）・Facebook・LINE・コミュニティFM

☎ 危機管理課 防災安全係 ☎ 22-3402

全国瞬時警報システム（Jアラート）
津波や武力攻撃などの緊急情報を、
人工衛星などを通じて国から市町村
に瞬時に伝達するシステム



毎月11日は

防災を**考える**日 ~ episode101 ~

☎ 危機管理課 防災安全係 ☎ 22-3402

2024年度インターンシップ生 早川美鈴さん作成



「落雷に注意！」

■雷から身を守ろう

雷鳴が「ゴロゴロ」と聞こえ始めたら、その場にいつ落雷してもおかしくない状況です。

グラウンドや砂浜、海上などの開けた場所は人に落雷しやすくなります。鉄筋コンクリート建築や自動車など安全な場所に移動しましょう。

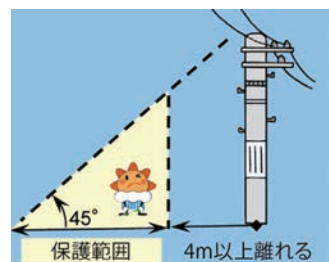
■安全な場所が近くにないときは

近くに安全な空間がない場合は、電柱や鉄塔などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4m以上離れたところに退避しましょう。高い木から離れ、姿勢を低くしましょう。

■防災基礎クイズ

Q 避難場所が見当たらないときに、雷から身を守る「雷座り」とはどのような姿勢？

- ①姿勢を低くし、両足をそろえて、頭を下げてしゃがみ込み、両手で耳をふさぐ
- ②姿勢を低くし、地面に手を付けてしゃがみ込む
- ③地面に寝そべり、両手で耳をふさぐ



〔気象庁のホームページを加工して作成〕

毎月11日は「防災を考える日」です。震災の教訓や災害への日頃の備えなどについて、家庭や学校、職場、地域などで話し合ってみましょう。